
橋本市の教育

— 2018年 —

平成30年度



橋本市教育委員会

I 橋本市の概要

1 沿革・歴史・文化

橋本市は和歌山県の北東部に位置し、北は大阪府河内長野市と東は奈良県五條市と接しています。市域の北部は和泉山脈が、南部は紀伊山地から派生する山々が占め、その間を貫くように東から西へ紀の川が流れています。平成18年3月1日、隣接する橋本市と伊都郡高野口町が合併して新しい「橋本市」が誕生しました。

この地域では縄文時代の昔から人々の営みが続けられていたことが、市内に残る遺跡の発掘で明らかとなっています。また、飛鳥や奈良に都が置かれる頃になると淡路や四国各国へ向かう官道として南海道が紀の川に沿って通じ、紀和国境の真土山では都を離れる旅人の思いや大和国へ帰ってきた感慨を万葉人が歌に詠んで『万葉集』に残しています。

平安時代、空海が高野山をひらくと、京都から高野山への道もこの地を通るようになり、皇族や貴族の高野参詣にも利用されました。中世にはこの地域にも隅田荘の隅田一族、官省符荘の政所一族等の武士団が形成されました。特に、隅田一族の動向は軍記物として有名な『太平記』にも登場します。

天正13年(1585) 応其上人は荒地を開いてまちをつくり、2年後の天正15年には紀の川に長さ130間(約236m)の橋を架けました。これが「橋本」の地名の由来となりました。また、南北に通じる高野街道と東西に通じる伊勢(大和)街道が交差する交通の要衝として、紀の川水運の拠点として、そしてこれらによる物資の集散地として橋本の町は大いに栄えました。

近代に入っても東西に現在のJR和歌山線と国道24号が、南北に現在の南海高野線と国道371号が通じ、地域の交通の中心地として発展してきました。

人物としては江戸時代に紀州流土木技術を駆使し、藤崎井や小田井を開削した大畑才蔵、「多変数解析函数論」研究の数学者・岡潔、「前畑がんばれ!」の実況放送で有名な第11回オリンピックベルリン大会金メダリスト兵藤(前畑)秀子、潜水泳法で第16回オリンピックメルボルン大会金メダルを獲得した古川勝らは、なかでも特に大きな業績を残した橋本市ゆかりの人々です。



2 橋本市の位置・面積

和歌山県の北東にあり	東経	135度36分29秒
	北緯	34度18分40秒
		(市役所の位置)
	面積	130.55 km ²

3 橋本市の人口（平成30年3月31日現在）

総数	63,486人
女	33,489人
男	29,997人
世帯数	27,082世帯
人口密度	486人/km ²

4 市文教関係公職者（平成30年5月1日現在）

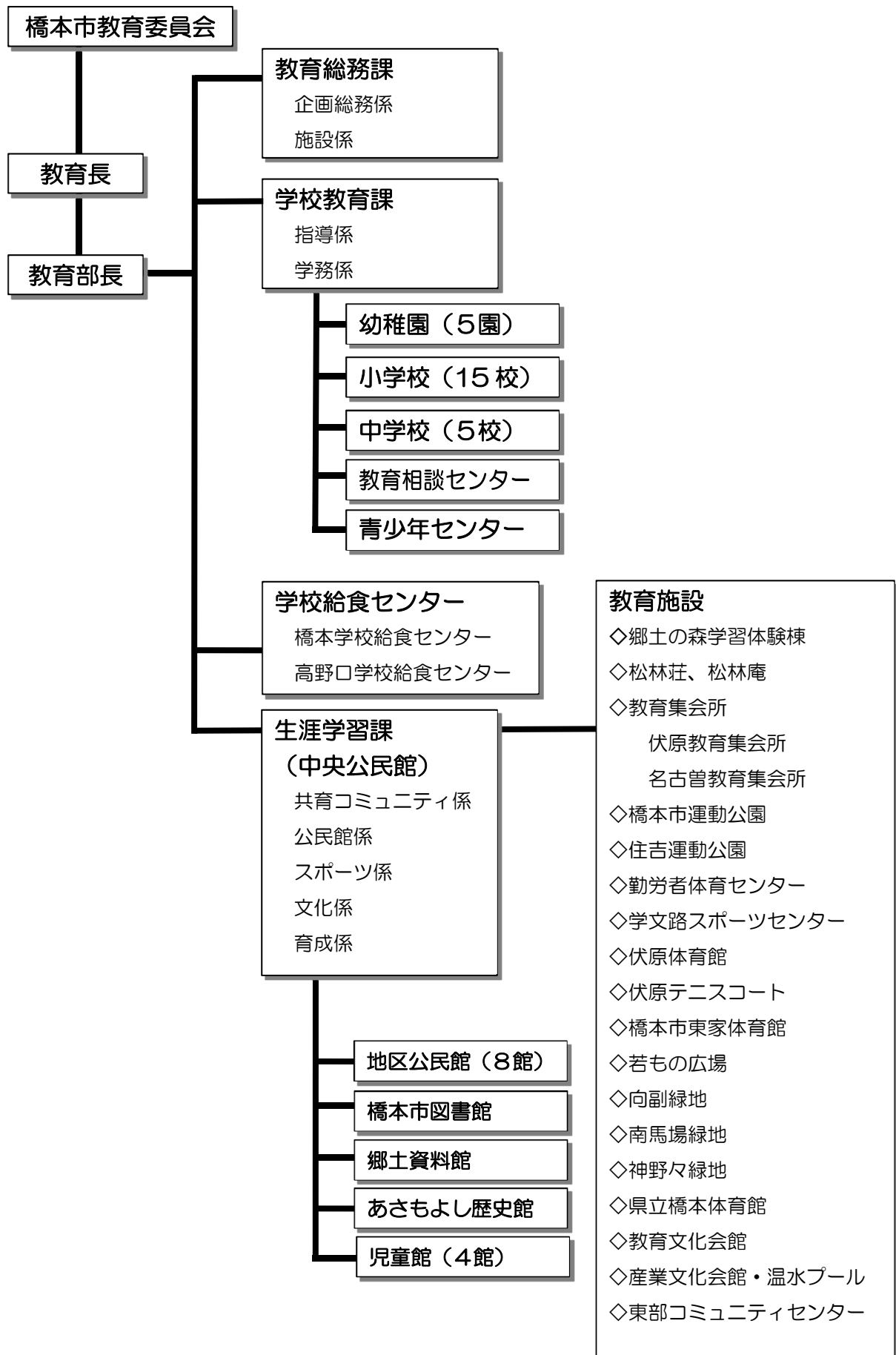
役職名	氏名
市長	平木 哲朗
副市長	森川 嘉久
市議会議長	岡 弘 悟
市議会副議長	辻 本 勉
文教厚生委員長	小 林 弘
文教厚生副委員長	岡 本 安 弘
文教厚生委員	石 橋 英 和
〃	小 西 政 宏
〃	坂 本 久 代
〃	樽 井 豪 男
〃	土 井 裕 美 子

5 教育委員名簿（平成30年5月1日現在）

職名	氏名	教育長・委員就任年月日
教育長	小 林 俊 治	平成30年4月25日
教育長職務代理者	米 田 恵 一	平成29年4月22日
委員	田 中 敬 子	平成29年4月22日
委員	中 尾 悦 子	平成27年4月22日
委員	吉 田 元 信	平成30年4月25日

6 橋本市教育委員会の機構

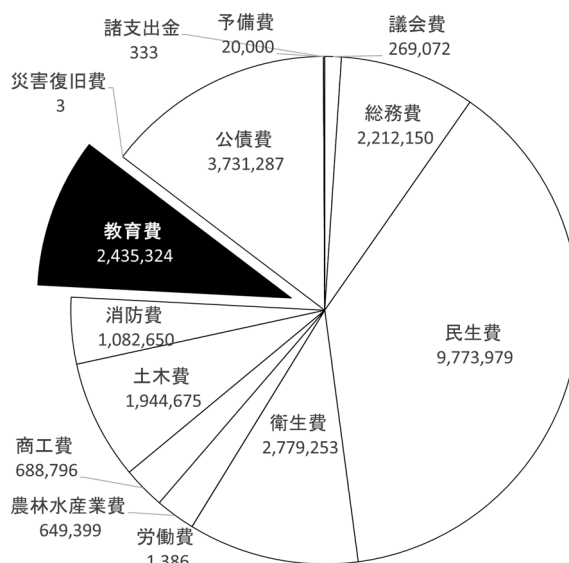
(平成 30 年 4 月 1 日現在)



7 予算

(1) 平成 30 年度橋本市一般会計の内訳

項目	予算額(千円)	割合(%)
議会費	269,072	1.1
総務費	2,212,150	8.6
民生費	9,773,979	38.2
衛生費	2,779,253	10.9
労働費	1,386	0.0
農林水産業費	649,399	2.5
商工費	688,796	2.7
土木費	1,944,675	7.6
消防費	1,082,650	4.2
教育費	2,435,324	9.5
災害復旧費	3	0.0
公債費	3,731,287	14.6
諸支出金	333	0.0
予備費	20,000	0.1
	25,588,307	100.0



(2) 平成 30 年度教育費の内訳

(割合:%)

項目	予算額(千円)	割合	内訳	予算額(千円)	割合
教育総務費	412,634	16.9	教育委員会費	3,432	0.1
			事務局費	256,806	10.5
			教育振興費	139,292	5.7
			適応指導対策費	13,104	0.5
小学校費	392,213	16.1	学校管理費	191,074	7.8
			教育振興費	28,385	1.2
			学校建設費	172,754	7.1
中学校費	126,541	5.2	学校管理費	99,210	4.1
			教育振興費	27,331	1.1
幼稚園費	135,364	5.6	幼稚園費	135,364	5.6
社会教育費	630,277	25.9	社会教育総務費	127,549	5.2
			中央公民館費	14,636	0.6
			地区公民館費	334,478	13.7
			図書館費	39,580	1.6
			教育文化会館費	18,907	0.8
			青少年総合対策費	6,897	0.3
			青少年センター費	6,112	0.3
			児童館費	37,479	1.5
			教育集会所管理費	587	0.0
			歴史文化費	13,083	0.5
			東部コミュニティセンター費	3,963	0.2
			産業文化会館費	22,580	0.9
家庭教育支援推進費	4,426	0.2			
保健体育費	738,295	30.3	保健体育総務費	23,442	1.0
			保険管理費	38,156	1.6
			体育振興費	9,787	0.4
			学校給食費	472,214	19.4
			体育施設管理費	33,900	1.4
			運動公園費	160,796	6.6
教育費合計	2,435,324	100.0		2,435,324	100.0

Ⅱ 橋本市の教育施策

平成 27 年 4 月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、地方公共団体の長は教育に関する総合的な施策の大綱を定めることとされました。

橋本市では平成 27 年度に 3 回の総合教育会議での議論等を経て、以下の「理念」、「基本方針」及び「重点目標」を「橋本市教育大綱」として策定しました。

橋本市教育大綱

[理念]

人が学びあい、共に育むまちづくり
— 自立と共生のまち橋本市に向けて —

[基本方針と重点目標]

(1) 豊かな心を育みます

- ア 「教育は家庭から」の理念に基づいて、関係機関が連携して家庭支援を推進する。
- イ 家庭や学校、地域での人権意識の高揚に努める。
- ウ 態度教育（あいさつ、返事、後片付け、食事のマナー、立腰）を推進し、道徳性を育てる。
- エ 地域文化や芸術、スポーツに親しむ場を提供する。
- オ 多様な活動を通して、自然との触れあいに努める。
- カ ふるさと学習を推進し、郷土愛を育てる。

(2) 多様な学びと健やかな体を育みます

- ア 基礎学力を基盤とし、主体性のある学びを推進する。
- イ 学校・公民館を通して、多様性・共同性の学びを推進する。
- ウ 保育園・幼稚園・こども園・小学校の連携及び小中一貫教育の充実に努める。
- エ より良い学びの場のための教育環境を整える。
- オ 持続可能な社会の担い手を育む教育（環境・人権・平和・キャリア・防災・ICT・国際理解）を推進する。
- カ 読書活動の推進に向けて環境を整える。
- キ 文化施設・社会体育施設（学びの場とスポーツに親しむ場）の充実に努める。
- ク 食の大切さの学びを推進する。

(3) 地域・家庭・学校の連携を育みます

- ア 公民館単位で「共育コミュニティ」を組織し、地域の活性化を推進する。
- イ 地域の教育力を学校教育に活かすために、学校開放に努める。
- ウ 学校や地区公民館を拠点として地域の学びと交流を推進する。
- エ 福祉と教育が連携し、安心・安全、学びのまちづくりを推進する。
- オ 子どもの健やかな成長に向けて「橋本市子どもスマホ宣言」を推進する。

橋本市では、この「教育大綱」に従い、以下のとおり教育施策を進めていきます。施策の実施に当たっては、成果指標を設け、実績の確認や目標の設定を行い、計画的な実行に努めます。

基本方針 (1) 豊かな心を育みます

重点目標 ア 「教育は家庭から」の理念に基づいて、関係機関が連携して家庭支援を推進する。

重点的な取組 ①子育て、親育ち講座等の充実を図ります。

■具体的な施策

- ・家庭における子育てのあり方について、就学前並びに小学校低学年の保護者を対象に講座等を開催します。
- ・子育てをテーマとして、「子育て講座」を開催します。
- ・学校・福祉部局等の関係機関と連携のもと、子育てのあり方について考え、子どもの成長・発達を社会全体で見守る地域コミュニティづくりをめざし、子どもを取巻くよりよい教育環境の向上に努めます。
- ・地域支援者の養成に努めます。
- ・保護者が子育てに喜びを感じられるように働きかけます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
地域支援者養成講座・子育て支援講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度地域支援者養成講座を3回開催、参加者は延べ121名。 ・子育て支援講座を1回開催、参加者は53名。 ・本年度は、地域住民が子育てに関心を持ち、積極的にかかわろうとする意識を培い、「地域の担い手」を育成することを目的に講座を開いた。 ・地域支援者養成講座の参加者の中には「自分も何かしたい気持ちになりました」との声もあり一定の効果を得た。 	地域で子育て支援をすることに興味を持ってもらえるよう、内容を考え前年度と同様に地域支援者養成講座・子育て支援講座を開催する。
保護者間のつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームによる講座を104回開催（就学時健診含む）。参加者は大人1,819名、子ども1,501名。 ・保護者同士のつながりづくりを中心に講座を展開した。 ・特に就学時健診時のワークにより、知り合いのいない保護者にとっては不安が軽減されたとのアンケート結果も得た。 	開催回数は、現状維持とし、保護者同士のつながりができるよう、関係機関と園が連携して講座等の内容を工夫する。

重点的な取組 ②教育相談センターを中心として、子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」など各専門機関と連携し、支援を行います。

■具体的な施策

- ・課題を整理し、問題解決に向けての有効な支援を検討します。
- ・学校・福祉機関(子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」)や医療機関等と連携して、効果的な支援を行います。
- ・福祉制度の活用等を通してソーシャルワーク的な支援を行います。

- ・子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」など関係機関が集まり、課題を検討するケース会議を活用します。
- ・臨床心理士等の専門家による支援を行います。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
長期欠席児童生徒数(不登校児童生徒数を含む)の低減	・来室相談に加え、学校からの依頼を受けてケース会議を定期的実施した。結果として初期段階でスクールカウンセラーや関係機関での対応が可能となり、未然防止につなげることができた。(平成29年度長期欠席児童生徒数102名うち不登校児童生徒数48名)	平成29年度長期欠席児童生徒数より10%減(102名を90名に、うち不登校児童生徒数48名を45名)に取り組む。
不登校児童生徒の受け入れ	・指導員の子ども理解を深めることを目的に校長経験のある臨床心理士による指導助言を年間12回、センター内研修を月1回実施。	社会的自立や学校復帰を目指した適応教室の充実を図る
教育相談の充実、教職員に対する支援の充実	・年間相談件数468件2,708回、学校訪問による教職員に対する助言のべ1,452回実施。 ・夏季休業中に大学教授を講師に招き教職員対象の事例研究を実施し29名の教員の参加があった。	子ども・保護者に対する心理的支援の充実を図る。 学校教育と心理の双方に関する専門的知識を持った教職員の育成を行う。
非行防止活動の実施	・学校・警察・青少年センター連絡協議会及び橋本市青少年補導員会と連携し32回の補導活動を実施した。	補導件数が増加する長期休業中の補導活動を強化する。

重点的な取組 ③学校・家庭・地域・関係機関との連携を深め、青少年非行の未然防止活動に努めます。

■具体的な施策

- ・橋本市青少年補導員・学校教職員と協力し、夜間や長期休業中、夏祭り、秋祭り、夜店等の補導活動を行います。
- ・不安を持つ青少年、保護者、学校等からの来所・メールによる相談を受理し必要に応じて専門機関と共同での指導や連携を行います。
- ・有害図書や「やぎの箱」で回収するとともに、各商店や大型量販店、遊戯場等に協力要請を行います。
- ・事故防止、環境浄化等の看板を作製設置します。
- ・少年に関する情報や資料を収集し、センターだよりやちらし、看板、オリジナル教材等による啓発活動を行います。
- ・善行児童生徒の表彰を行います。
- ・非行少年等の立ち直りを支援します。
- ・学校・警察・青少年補導員会等と情報交換を行い、必要に応じて研修を行います。
- ・近畿・県・紀北地区青少年センター連絡協議会等との情報交換や研修を行います。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
立ち直り支援の充実	・立ち直り支援、居場所作りを大切に召致指導を53回のべ20人に対して実施した。	青少年の心情を吐露することの出来る場を提供し、精神的な安定を図る。

	・継続的な指導を実施することで、青少年だけでなく保護者にとっても精神的な安定を得られる場所になっている。	
環境浄化活動の実施	・有害図書（雑誌・DVD等）188点、一般図書119点回収・処分した。	引き続き回収を行う。

重点的な取組 ④橋本市家庭教育支援チーム事業を推進し、家庭教育支援の充実に努めます。

■具体的な施策

- ・親の集まる場を設定し、「食育」「家読」などのテーマで語り合いを行います。
- ・家庭教育情報誌「げんきっこ family」を年4回発行します。
- ・家庭訪問し、子育ての悩みを聞いたり、必要とする情報を提供したりすることで、親の子育ての不安が軽減できるよう努めます。
- ・就学時健康診断の場を活用し、就学に対する不安や悩みの語り合いの機会を設けます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
家庭訪問の実施	・家庭訪問は8家庭（うち2家庭は訪問終了） ・家庭訪問実施件数は107件（ケース会議は16回）	不安や悩みをかかえたまま、孤立する家庭が1件でもなくなるように福祉部局と連携しながら家庭訪問を実施する。
子育て・親支援講座の充実	・家庭教育支援チームへの各園・各校・公民館等からの依頼に基づき104講座（就学時健診含む）を開催した。 ・保護者同士のつながりづくりを実施した。参加者は大人1,819名、子ども1,501名 ・前年度に引き続き、保育園・幼稚園・小学校・公民館等から講座の依頼があり、アンケートでは「子育ての疲れを忘れて楽しい時間を過ごせた」という意見も多くあった。	前年度と同様に、家庭教育支援チームによる親支援講座を開催する。

重点的な取組 ⑤子ども館・児童館活動を充実させ、各種事業を実施します。

■具体的な施策

- ・子どもの人格的な発達に必要な「遊び」と「創造」の意義をふまえ、各館の事業の充実に努めます。
- ・学校との連携を深め、移動児童館事業、学校授業への支援を充実します。
- ・児童厚生員は積極的に研修に参加し、資質と力量の向上に努めます。
- ・地域子ども会が子どもと親にとって、共に育ちの場となるよう支援します。
- ・異年齢間の交流や中高生の居場所・子育て支援の場等、誰もが楽しく過ごせる安全安心な居場所を作ります。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
児童健全育成の場としての各種事業の実施	・各児童館の事業参加者は、 きしかみ子ども館 2,484名 はらだ子ども館 968名 友愛児童館 948名 名古屋児童館 1,542名 移動児童館・体育館 723名	子ども館・児童館の事業については、児童生徒数は減少傾向にあるが事業参加者数は、例年と同数を目標として企画する。

	<p>授業 631名 夏休みこどもまつり 537名 「どんどこプロジェクト【NPO協働事業】」 1,967名</p> <ul style="list-style-type: none"> 各館で特色ある事業を企画し、年間計画を基に季節の行事や手作り教室・クッキング・遊び等の様々な催しを実施した。 移動児童館では、体育館実施・授業での季節の手作り教室共に市内の全15小学校で実施し、学校との連携も深まった。 3年連続して実施した【どんどこプロジェクト】(子どものための児童館とNPO協働事業)で制作した子どもが自ら描く安全啓発の看板は、橋本中央中学校・隅田中学校区地域の協力も得て設置した後も維持管理と共に、引き続き子どもの安全を願って見守り、学校・地域との繋がりが更に広がっている。 夏休みこどもまつりでは、今年度の【どんどこプロジェクト】のテーマである「児童館で3Rを！」の体験を通してリサイクルの意味を再確認し、知識も共有することに取組むことができた。 	
--	---	--

重点目標 イ 家庭や学校、地域での人権意識の高揚に努める。

重点的な取組 ①人権教育啓発教材の作成と活用を図り、人権教育の推進に努めます。

■具体的な施策

- 人権教育学習資料の充実に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
人権プロジェクトによる人権教育啓発資料の作成	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は、年々増加傾向にある高齢者を対象にした人権教育啓発資料を作成しました。全戸配布し、橋本市で生活するうえで、いずれ各自におとずれる高齢者問題等をやさしい言葉を選んで解説しています。 	作成した資料を全戸配布して、高齢者の人権を橋本市で生活する全ての人々に気づき学んでもらう。
学校における人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全小・中学校において人権教育全体計画を作成し、各校の状況に応じて重点課題を定めて人権学習の充実に図ることができた。 いじめや人権意識に関する調査を実施し、現状把握・改善に努めた。 人権教育副教材「しあわせ」をはじめとする教材・資料を活用するとともに、外部人材からの講話や体験活動等をとおして人権学習を進めることができた。 	各校の状況により計画の見直しを行い、人権教育の更なる充実に努める。

重点的な取組 ②学校における人権教育の充実に努め、学級等の集団づくりの充実に努めます。

■具体的な施策

- 「橋本市人権教育基本方針」に基づき、小・中学校では副読本「しあわせ」等を活用した計画的・系統的な人権教育を実施し、豊かな人権感覚を持った児童・生徒の育成に努めます。

- ・望ましい集団活動を展開し、集団の中で自他の価値を見いだせる仲間づくり・学級づくりを推進します。
- ・自己肯定感と思いやりの芽生えを育てます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
仲間づくり・学級づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・園では子どもの興味・関心を探りながらルールのある遊びやごっこ遊びを工夫し、夢中になって遊んだり、友達とイメージを共有しながら活動したりする中で、友達と積極的に関わろうとする姿や相談しながら遊びを進めようとする姿が見られた。 ・市内中学校生徒会交流会（橋本市生徒会連絡協議会主催の企画・運営を支援し、参加生徒が学校のリーダーとしての意識を高め、他校の生徒との交流で経験したことを自校での活動につなげることができた。 ・学級集団での児童・生徒の状況を把握するためアセスメントを実施するとともに、仲間づくり・集団づくりを手助けする手法について学校の要望に応じて支援を行なった。 	新しい手法にも取り組んだり、活動内容を見直したりして、よりよい集団づくりを実現する。
異年齢の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児や祖父母、地域の人との交流を年間計画に位置づけ、実施できた。 ・各園の実情に応じた異年齢保育や異年齢交流を実施し、年下の子に優しく接する年長児の姿や、年上の子を支えに新しい遊びに興味を持って取り組む年少児の姿が見られた。 	現状の取り組みを継続し、自己肯定感や思いやりの気持ちの育ちにつなげる。

重点的な取組 ③いじめの未然防止を図ります。

■具体的な施策

- ・人権教育や道徳教育等の充実を図り、児童生徒の人権意識の向上を図ります。
- ・「橋本市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、いじめを認知した場合は、教職員、保護者、地域住民、関係機関等との連携を図り、迅速かつ適切に対処します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
いじめ認知件数の減少と解消率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ認知件数417件、解決件数415件。 ・年間1回以上のいじめに関する研修会を開催した。 	いじめ未然防止のため、日頃から児童生徒の様子に目を配るとともに、アンケート等で認知した事案に対して素早く対応し解決する。
いじめの早期発見のためのアンケートの実施総数	<ul style="list-style-type: none"> ・各校とも年間3回以上いじめに関するアンケートを実施した。 	現状を維持する。

重点的な取組 ④「人権講演会」などを開催し、人権教育の充実に努めます。

■具体的な施策

- ・人権を尊重し、人権意識を高めるために、次の事業に取り組めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各地区公民館にて講演会や映画上映会への参加数	・全国・近畿・県合同の公民館大会、人権研修、交通安全講習会等の各種研修会に積極的に参加することができた。	引き続き精力的に事業に取り組み、全職員の参加を目指す。

重点目標 ウ 態度教育（あいさつ、返事、後片付け、食事のマナー、立腰）を推進し、道徳性を育てる。

重点的な取組 ①道徳教育の推進に努めます。

■具体的な施策

- ・学校教育において、子どもの実態を踏まえ、学校や学年の段階ごとに道徳の時間を中心に取り組みます。
- ・道徳教育の充実に向けて、授業改善等の研修を行います。
- ・家庭や地域の方々との連携を図りながら、道徳性の育成に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各校における道徳教育の年間計画作成とその実施	・各校あるいは、各中学校区において新しい内容項目に沿った年間指導計画や別業（各教科との関連）の作成を行った。	年間指導計画を見直す。
道徳の研修会等の実施	・公開授業については2小学校、5中学校において計7回、研修会については5回実施することができた。	道徳教育研修会を年間1回以上実施する。
基本的な生活習慣の確立	・生活アンケートを実施し児童生徒の実態を把握した。 ・昨年度と比較すると、「朝ごはんを毎日食べる」「決まった時間に寝て起きる」「学校の決まりを守る」等に向上が見られた。 ・「態度教育」推進の効果がでてきた。	学校と家庭が連携して、早寝・早起き・朝ご飯の推奨、授業規律の徹底、挨拶運動・清掃活動を推進する。 道徳の時間等により規範意識を高める。

重点的な取組 ②中学生ボランティア・青年リーダーの育成に努めます。

■具体的な施策

- ・子どもの校外活動を促進するとともに、青年リーダーの育成に努めます。
- ・中学生ボランティア・青年リーダー活動を推進します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
青年リーダーによる研修会の開催、次世代の青年リーダー候補の育成	・青年リーダー：会員が減少したが、全員で補った結果、例年と変わりなく、事業を実施できた。 ・子どもたちに対する指導・育成においても、青年リーダーを対象とした研修（火おこし等）をおこなった結果、充実した取り組みをおこなうことができた。 ・中学生ボランティア：中学生ボランティアを対象とした研修を行い、リーダーとしての考え方や行動を伝えることができた。	青年リーダー26名 中学生ボランティア42名 引き続き事業として「子ども冒険村」「ジュニアリーダー研修会」を実施する。

重点的な取組 ③態度教育の推進に努めます。**■具体的な施策**

- ・ 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校が連携し、就学前教育から積極的に態度教育に取り組みます。
- ・ 学校教育において、保護者や地域の方々と連携を図り、子どもの発達段階に応じた態度教育を進めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
大人が手本となって態度教育を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園便りや懇談会等を通じて、保護者の協力が得られるよう働きかけた。 ・ 園外活動や来園者と接する機会では、保育者が率先して挨拶や会話を交わす姿を見て子どもも親しみを持ってあいさつ等を交わすことができた。 	園と家庭が連携しながら、保護者が手本となる態度（あいさつ、返事、食事のマナー等）を示し、子どもが身に付けられるようにする。

重点目標 Ⅱ 地域文化や芸術、スポーツに親しむ場を提供する。**重点的な取組 ①文化財の保護活用に努めます。****■具体的な施策**

- ・ 指定文化財や埋蔵文化財等の保護と調査・活用に努めます。
- ・ 郷土資料館で企画展、講座を開催し、地域学習の機会提供に努めます。
- ・ あさもよし歴史館で企画展、体験教室を開催し、文化財への関心を高め、理解を深めるための講座を開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
指定文化財及び埋蔵文化財の保護活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財指定等件数は世界遺産1件、国指定4件、国登録23件、県指定29件、市指定68件。 	指定文化財の増加に努めるとともに、文化財への理解・活用に努める。
郷土資料館における、地域学習の場としての各種事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展示、講座等を実施し、平成29年度の利用者数は5,765人。 	展示・講座の内容を工夫し、地域学習の推進を図る。
あさもよし歴史館における、文化財(考古資料)への関心の向上および理解の深化のための各種事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展示、講座、体験学習等を実施し、平成29年度の入館者数は1,027人。 	展示・講座・体験教室の内容を工夫し、一層の文化財理解に繋げる。

重点的な取組 ②芸術文化の振興に努めます。**■具体的な施策**

- ・ 指定文化財や埋蔵文化財等の保護と調査・活用に努めます。
- ・ 郷土資料館で企画展、講座を開催し、地域学習の機会提供に努めます。
- ・ あさもよし歴史館で企画展、体験教室を開催し、文化財への関心を高め、理解を深めるため

の講座を開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
世界遺産 黒河道の保全の取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道の高野参詣道 黒河道・京大坂道の橋本一高野山間のマップを10,000部作成した。 平成29年10月の台風21号の大雨により被災した黒河道の復旧に努めた。 	世界遺産高野参詣道 黒河道の維持管理の体制づくりに努める。
各種事業への参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 県展については、昨年度からジュニア展が加わり来場者の増加につながった。 	明確なテーマをもって取り組み、来場者数増加を目指す。

重点的な取組 ③スポーツに親しむ場を提供します。

■具体的な施策

- ・体育施設の充実及び利用促進を図ります。
- ・和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への参加、小・中学校と連携した選手の育成に努めます。
- ・橋本マラソンを開催し、出場者にはスポーツ大会に参加することの喜び・応援者には人のがんばりを喜びと感じる精神を養います。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
市民の健康の増進及び、体育の向上を図る取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度における施設利用者数は、無料施設で114,142人、有料施設で169,829人であったのに対し、平成29年度の施設利用者数は、無料施設で95,701人、有料施設で174,899人であった。 	体育施設の貸し出しについて、広報等で周知し、市民が気軽に運動に取り組めるような環境を作る。
ジュニア駅伝上位入賞に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 11月と12月は、土・日曜日に練習を実施。1月は水・木・土・日曜日で練習を実施。 第17回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に出場し、県内29市町中第4位の成績であった。 	スポーツ推進計画で定めた3位を目標とし、選手の力を最大に引き出すよう練習に取組む。
橋本マラソンの参加人数拡大への取組	<ul style="list-style-type: none"> エントリーは1,527人であった。 	広く広報活動を行い、スポーツ推進計画で定めた2,500人を目指す。

重点目標 才 多様な活動を通して、自然との触れあいに努める。

重点的な取組 ①自然と触れ合える体験活動の充実を図ります。

■具体的な施策

- ・学校教育において、体験活動を取り入れた環境教育を充実させ、一人一人が環境を大切に思う気持ちを育みます。
- ・園においては、散歩や園外活動、飼育・栽培活動等を通して自然に触れ、豊かな感情を育てます。
- ・「子ども冒険村」などの自然体験事業を促進します。
- ・希少種の保護に取組み、環境学習の推進に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校教育における体験活動を取り入れた環境学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> 県の緑育推進事業の実施を支援し、実施校も年々増加している、今年度は10校10学年で実施し、次年度は12校18学年での実施を計画している。 各校でも独自に体験活動を取り入れた環境学習を実施し、児童生徒の環境に対する意識向上に努めた。 	内容を充実させるとともに実施校数の増加を目指す。
園外活動、飼育・栽培活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じた活動内容の工夫ができた。地域との関わりを深めることにもつながった。 体験したことをごっこ遊びや行事につなげ、楽しむことができた。 	園児の興味・関心を探り、実態に応じた活動内容の工夫をする。
「子ども冒険村」等の自然体験事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 申込者101名の応募があり、上限を40名から55名まで広げた。 安全面も考慮した運営をおこなうことができた。 	状況に応じた中で、安全面も考慮した最大人数で実施していきたい。
希少種保護と環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 県立紀北農芸高校や市内の一部の小学校において飼育の取り組みがはじめられた。 	希少種ヒメタイコウチの保全方策を策定していく。

重点目標 **力 ふるさと学習を推進し、郷土愛を育てる。**

重点的な取組 ①郷土の偉人の足跡を紹介し、郷土愛を育みます。

■具体的な施策

- ・(仮称)岡潔記念館設置に向け、「岡潔博士顕彰事業」を開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
(仮称)岡潔記念館の整備	<ul style="list-style-type: none"> 岡潔顕彰寄附金として12名の方から合計金額272,000円の寄附金をいただいた。 	記念館の整備と業績の顕彰に努める。
岡潔博士顕彰事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 岡潔博士の関係者を招いた講演会を開催し、約230名の来場があった。 	顕彰講演会を開催し、来場者数の増加のため、広報活動に努める。

重点的な取組 ②ふるさと学習のカリキュラムを作成します。

■具体的な施策

- ・平成31年度から本格実施できるよう、カリキュラムを作成します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
「ふるさと学習」のカリキュラム作成	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区ごとの部会で、中学校区の地域の特色を生かした年間カリキュラムを作成中である。 	地域の特色を生かした年間カリキュラムを作成する。

基本方針（２）多様な学びと健やかな体を育みます

重点目標 ア 基礎学力を基盤とし、主体性のある学びを推進する。

重点的な取組 ①学力向上に努めます。

■具体的な施策

- ・（市）標準テストの実施とその結果分析から市や各校の課題を明らかにし、課題解決に向けて具体的に取り組みます。
- ・学校において授業改善を図り、児童生徒の主体的な学びを目指します。
（ユニバーサルデザイン化、共同的な学び、ICTの活用等、個々に応じた教育的配慮等）
- ・家庭学習を充実させるよう取り組みます。
- ・外国語活動の推進と外国語教育の充実を図ります。
- ・園においては主体的に遊ぶための環境構成の充実に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各校における（市）標準テストの経年変化及び課題への対応	・4月に実施した（市）標準テストを各校で分析してもらい、課題解決に向けての方策を考え、実践した。	平成30年度も4月に実施し、課題を明らかにするとともに、10月実施の（県）学習到達度調査で県平均を上回る。
各校における授業改善の取組の把握と指導の充実	・学校訪問の参観では、和歌山の基礎・基本3か条をベースに、めあての提示、ふり返りの時間の確保等改善が見られた。 ・ICTの活用により、視覚的に分かりやすくする工夫が見られた。	学校訪問等で授業を参観し、各校の取組の実態把握をするとともに、児童・生徒の主体的な学びとなるよう指導を行う。
特別支援教育の充実	<平成30年度から新規に指標設定>	児童生徒の実態を把握し、個々に応じた方法・内容で学習できる工夫をするよう指導を行う。
各校における家庭学習時間の把握と啓発	・9月に「家庭学習のすすめ」のチラシを、各家庭に配付し、啓発した。 ・全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙」における家庭での学習する割合が中学生において増えてきた。	児童・生徒の家庭学習の習慣の定着を目指す。アンケート調査等で好結果を目指す。
遊びの環境構成の工夫	・園訪問の機会を生かし、こども園・保育園・幼稚園の公立園の保育者が互いの保育を見学し、環境構成についても協議できた。	引き続き主体的に遊ぶための環境構成について研究し、充実を図る。

重点的な取組 ②体力向上に努めます。

■具体的な施策

- ・体育授業のより一層の改善を図ります。
- ・乳幼児期の運動発達を促し、体力づくりを推進します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
体育授業の交流	・授業交流会を1回実施した。	校種、学校間を超えて授業交流会を年間3回程度実施する。

発達年齢に沿った体力づくり	・楽しみながら意欲的に取り組める運動遊びを工夫し、一人一人に応じた丁寧な関わりをした。	現状の取り組みを継続する中で、子ども一人一人の実態を見極め、それぞれに応じた運動発達を促す。
---------------	---	--

重点的な取組 ③教職員の資質向上に努めます。

■具体的な施策

- ・教職員を対象に研修会を開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
「ブラッシュアップ講座」の研修会を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブラッシュアップ講座」については、多様な講師の活用と教員間のネットワークづくりを促進するため、伊都地方教育長会、紀北教育支援事務所と連携して、伊都地方1市3町が合同で研修を開催した。 ・「教育フォーラム」については、398名が参加した。「人が学びあい、共に育むまちづくり」をテーマに神戸大学准教授山下晃一氏による講演を行った。 	「ブラッシュアップ講座」については、参加者を増やす。

重点目標 イ 学校・公民館を通して、多様性・共同性の学びを推進する。

重点的な取組 ①橋本市生涯学習推進計画に基づいた取組を進めます。

■具体的な施策

- ・地域の人材を発掘し、共育コーディネーターが地域の核になるための研修を実施します。
- ・地域づくりの主体となる語り合いの場づくりを進め、具体的な行動につなげていきます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
地域を創る話し合いの場づくりの積極的な展開	<ul style="list-style-type: none"> ・共育ミニ集会や地域での学校間の交流会を実施。 ・公民館での主催事業においても話し合いの場づくりを取り入れた活動を実施した。 	社会教育の根幹となる地域住民の参加をより一層促していく。実施回数は全館で1回以上実施を目指す。

重点的な取組 ②「すこやか橋本 まなびの日」事業を実施します。

■具体的な施策

- ・健康部門と教育部門が協力し、イベントを開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
「すこやか橋本 まなびの日」イベント内容の充実と多くの参加者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度「すこやか橋本 まなびの日」は後半少し雨が降ったが、当日参加者3,000人の目標を達成することができた。 ・実施スペースについては大中小から選択してもらうことで効率化を図ることができた。 ・駐車場を確保するために、白線のない場所 	当日参加者3,000人を目指し、教育と福祉が連携して取組む。実施スペースも限定されることから効率のいい出展を検討する。

	にビニールロープで区切りをし、区画割をした。	
--	------------------------	--

重点的な取組 ③地域の特性、歴史、文化を生かした交流事業を充実させます。

■具体的な施策

- ・「盆踊り」、「ふるさと散策」を開催します。
- ・伊都地方文化祭を開催します。
- ・公民館まつりを開催します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
地域住民がふれあえるイベントの実施数	・各館で夏祭り等を開催し、多くの来場者で賑わった。	引き続きより魅力あるイベントの開催を増やしていく。

重点目標 ウ 保育園・幼稚園・こども園・小学校の連携及び小中一貫教育の充実に努める。

重点的な取組 ①保育園・幼稚園・こども園と小学校との接続について、研究を進めます。

■具体的な施策

- ・小学校へのつながりを意識した幼児期の教育について、保育園・幼稚園・こども園が連携しながら研究に取り組めます。
- ・幼児と児童の交流の場を計画的に設けるとともに、園と小学校の教職員の相互参観や研修の場を設定します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
研究保育への参加	・互いの研究保育に積極的に参加し、保育園・幼稚園・こども園、学校の職員が就学前の保育・教育のあり方について共に考えることができた。	互いの研究保育に積極的に参加し、保育園・幼稚園・こども園、学校の職員が就学前の保育・教育のあり方について共に考える。

重点的な取組 ②小中一貫教育の充実に努めます。

■具体的な施策

- ・各中学校区において年間計画を立て、小中で連携した教育を目指します。
なお、橋本市における小中一貫教育の要件は以下の4点です。
- (1) 小中で連携した教育目標の設定
- (2) 教育課程及び指導内容・方法並びに形態の連続性
- (3) 児童生徒の活動の連続性
- (4) 教職員間の連携

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各中学校区におい	・全中学校区において、教育目標をはじめ、	全中学校区において、小

て、小中連携型の一貫教育の推進	特定の教科（道徳等）において連携や連続性がみられた。 ・児童生徒の活動についても連続するよう協議し、実践している中学校区もあった。	中一貫教育の4要件を満たす取組を行う。
-----------------	--	---------------------

重点目標 エ より良い学びの場のための教育環境を整える。

重点的な取組 ①教育環境の施設整備に努めます。

■具体的な施策

- ・市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき施策を進めます。
- ・学校施設の長寿命化を計画的に行います。
- ・学校施設の安全管理に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
計画的な大規模改修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・応其小学校の校舎の外壁・屋上防水、教室棟3階便所の改修を行った。下足室を増築し児童玄関を一箇所に統一した。体育館の外壁、屋上防水の改修を行った。旧幼稚園舎、体育倉庫を解体し、学校倉庫と体育倉庫を新築した。旧幼稚園便所を屋外便所に改修した。 ・学文路小学校は、校舎の外壁・屋上防水、校舎2階便所の改修を行った。体育館の外壁・屋上防水を行った。 	H27・H28・H29・H30で応其小学校、H28・H29・H30で学文路小学校において行う。

重点的な取組 ②児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、就学援助を行います。

■具体的な施策

- ・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学援助を行います。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
国の基準に基づいた就学援助の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 要保護2名・準要保護443人を認定した。 ・中学校 要保護4人・準要保護232人を認定した。 （市立小・中学校全児童生徒の16.02%） ・市立小学校の特別支援学級全158人中 準要保護児童生徒援助費に52人、特別支援教育就学奨励費に102人を認定した。 ・市立中学校の特別支援学級全52人中 準要保護児童生徒援助費に21人、特別支援教育就学奨励費に23人を認定した。 ・平成30年度新中学1年生の新入学児童生徒学用品費を前年度の3月に支給することができた。なお、新小学1年生新入学児童生徒学用品費については、平成30年度3月（平成31年3月）の支給を予定している。 	必要な援助を平等に支給出来る方法を探る。

重点的な取組 ③教職員や児童生徒の心身の健康保持に努めます。

■具体的な施策

- ・疾病に対する予防保健活動の推進を図り、児童生徒等の心身の健康保持に努めます。
- ・教職員のメンタルヘルスに関する取組の充実を図ります。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校長との面談	・5月と1月の校長面談では、職員の健康管理についてのヒアリングを行い、職場環境の状況を掴むことができた。	職員の健康管理について校長面談の内容に盛り込む。
がん教育の実施	・医師による出張授業を全市立小学校で実施することができなかった。	全市立小学校で、がん教育を実施する。

重点的な取組 ④安定した学級運営を行うため、必要に応じて人的支援を行います。

■具体的な施策

- ・小学校の多人数学級において支援が必要と判断した場合に、非常勤職員を配置します。
- ・学級において指導困難な状況であると判断した場合に、非常勤職員を配置します。
- ・介助が必要な児童生徒が在籍し、人的支援が必要であると判断した場合に、特別支援教育支援員を配置します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
非常勤講師等の活用状況の把握	・配置校すべてを訪問し、非常勤講師（31名）の効果的な配置を確認することができた。	非常勤講師等の活用状況を確認するために配置校の訪問を行う。

重点目標 オ 持続可能な社会の担い手を育む教育（環境・人権・平和・キャリア・防災・ICT・国際理解）を推進する。

重点的な取組 ①総合的な学習の時間の充実を図ります。

■具体的な施策

- ・ESDの視点で、全体計画及び年間計画を見直します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
総合的な学習の時間の実施状況把握と指導の充実	・積極的に研修会を実施することはできなかったが、奈良教育大学ESDコンソーシアムの行う研修への参加を促し、数名参加した。 ・そのことで、ESDの視点で総合的な学習の時間を実施できることを学べた。	ESDの視点で、総合的な学習の時間を実施する学校を増やす。そのための研修会を実施する。

重点的な取組 ②ESDを意識した各種研修会を計画、実施します。

■具体的な施策

- ・ESDの視点で、全体計画及び年間計画を見直します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
ESDを推進するため、研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ESD推進のための研修会は実施できなかったが、紀の川の清掃事業の後に、子ども達を対象とした水生生物調査を実施した。川の清掃は、水生生物の存続にもつながり、環境を持続するためにも大切な行為であることを学べた。 	各種事業の中でESDの視点の取組みもあるので、ESDの説明を入れ、理解を深める。
ESDを推進するため、研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 橋本市ESD連続セミナー（5回完結型）を実施し、約10名の教員が参加した。 地域支援者養成講座で10月21日にESDについての研修会を実施した。 	研修会等を1回以上実施し、ESDの理解を深める。

重点目標 力 読書活動の推進に向けて環境を整える。

重点的な取組 ①「橋本市子ども読書活動推進計画（第2次）」に基づき、読書活動の充実に努めます。

■具体的な施策

- 子ども読書活動関係ボランティアの活動の活発化に努めます。
- 学校等における読書活動を推進します。
- ブックスタート事業を引き続き推進します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
一斉の読書時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 小学校では1全校で読書の時間の確保ができています。中学校では数校が時間確保ができています。 	全小中学校で一斉の読書時間の確保を目指す。
学校図書館の開放日数・時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 毎日ではないが、開放はすべての学校でされている。 	委員会活動等利用し、すべての小・中学校で毎日終日の開放を目指す。
①各園の実態に応じた具体的目標の設定と取組	<ul style="list-style-type: none"> 各園では、子どもの実態を踏まえて重点目標を設定して取り組んだ。また、園で特徴のある具体的な取組について園長会で情報交換を行い、参考にし合った。 	各園、前年度の反省と課題を踏まえながら実態に応じた目標を設定し、取組状況を報告し合い、充実につなげる。
ボランティアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度地域支援者養成講座受講者の1人が小学校で図書ボランティアをしてくれるようになり、図書ボランティアが入っている小学校は14校となった。（社会教育課） ボランティアの訪問日と学校図書館担当職員の訪問日を重ねることで、連携できた。 ボランティアと図書スタッフ、学校が連絡し合えるノートを活用した。 	学校や学校図書館担当職員とうまく連携し協働して活動できる工夫をする。
ユニバーサルデザインを取り入れた学校図書館	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの学校は学校図書の整理、分類ができています。 	だれもが利用しやすいすっきりした学校図書館の整理、図書の分類を行う。

重点的な取組 ②市民に役立つ図書館づくりに努めます。

■具体的な施策

- ・地域の特性や利用者のニーズに応じた図書館資料の収集と整理・保存及び情報提供に努めます。
- ・親しみのある図書館サービス活動を展開します。
- ・子どもの読書活動の推進に努めます。
- ・地区公民館や学校及び図書ボランティアなどとの連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
資料の収集・整理・保存	<ul style="list-style-type: none"> ・購入希望や話題の本、時事に関する資料を含め、新鮮な蔵書構成に努めた。 ・郷土資料の公開により、さらに収集が進んだ。 	体系的な資料の整備を進める。
主催行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「あかちゃんと絵本のひととき」が定着し、参加者が増えてきている。 ・「納涼お話会」参加者が本年度150名。盛会であった。 ・英語読書会開講10周年記念講演会を開催した。 	内容等に検討を加え、更なる充実を目指す。
子どもたちの読書へのきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回橋本市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催。市内小中学校から154点の作品が提出された。 ・子どもの読書意欲喚起に向け、「ぶっくんつうちょう」を改訂し、市内全小学校に配布した。 ・移動図書館巡回による個人・団体への貸出冊数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる学習コンクールの継続実施に努める。 ・団体貸出制度の活用に向けて広報活動に努める。
ボランティアの支援を募る	<ul style="list-style-type: none"> ・7名が本の修理及び書架整理を手伝ってくれている。 ・一部主催行事へは常時2～3名協力してくれている。 ・高校生が放課後に配架業務を手伝ってくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の高校への周知に努める。 ・定期的にボランティアを募集する。

重点目標 キ 文化施設・社会体育施設（学びの場とスポーツに親しむ場）の充実に努める。

重点的な取組 ①住民との連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。

■具体的な施策

- ・地区公民館や学校および図書ボランティア等との連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
市民ボランティアへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア登録者のうち活動内容が「子ども・教育」の方の活動回数は延べ2,736回 	各公民館とそこで活動するボランティアに有益な情報を提供し、活動の活性化を図る。

学校図書館の開放日数・時間の確保	・毎日ではないが、開放はすべての学校でされている。	委員会活動等利用し、すべての小・中学校で毎日終日の開放を目指す。
------------------	---------------------------	----------------------------------

重点的な取組 ②スポーツ推進計画に基づき、体力向上に努めるとともに、生涯スポーツに繋がる基礎を培います。

■具体的な施策

- ・すべての市民が気軽にスポーツに参加できる環境の整備に努めます。
- ・スポーツにふれあうことにより、健康な人づくり、元気なまちづくりを推進します。
- ・学校・各種団体と連携し、指導者・選手の育成や競技力の向上に努めます。
- ・生涯スポーツやレクリエーション活動を通して、人々の健康増進と交流を深めるため、次の事業を行います。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
中央並びに地区公民館のスポーツ大会や健康増進行事への参加者数	・スポーツ大会や健康増進行事への参加者数をH29とH28と比較すると、11%の伸びを示したが、市民グラウンドゴルフ交流会は、悪天候により1日順延となったが、248名の参加があった。	参加者数、前年比10%増を目指す。
市民ニーズに応じたスポーツをし易い環境整備	・住吉運動公園テニスコート人工芝部分修繕を実施した。 ・河川グラウンドに設置されている防球ネットの交換設置及びサッカーゴールのネットの張替を行った。 ・向副緑地及び紀の川第二緑地の被災箇所について災害復旧工事を行った。	施設利用者等のニーズに応じて、可能な限り用具等の充実を図る。
スポーツイベントを通じた地域交流の促進	・21回橋本マラソン大会を開催した。 ・スポーツ少年団・体育協会などの団体と連携を取りスポーツイベントを開催した。	スポーツイベントを開催する際に、参加する人・見る人・支える人等が大会を通じて交流できるような仕組みの構築を目指す。
身体能力や技術力の向上を目指す組織作り	・スポーツ少年団体力づくりや市のスポーツイベントに協力した。 ・スポーツ少年団理事会・総会等を開催。体力づくり&交流会、研修会等も実施し、指導者、団員の育成に努めた。	体育協会・スポーツ推進員・スポーツ少年団との連携を強化し、指導者・選手の育成に努める。

重点目標 ク 食の大切さの学びを推進する。

重点的な取組 ①食に関する指導の充実に努めます。

■具体的な施策

- ・学校における食育の充実に図ります。
- ・家庭との緊密な連携のもと、子どもの健全な成長、発達に不可欠な食生活の充実に図ります。
- ・学校と給食センターとの連携を密にします。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校給食の献立表を工夫し食に関する情報発信	・食材やマナーなど食に関する様々な情報を掲載した献立表を配布した。児童・生徒全員に給食実施月初めに献立表を配布した。	現状としても工夫しているが、さらに工夫をした献立表を作成する。
栄養士等による「食に関する指導」の実施	・市内15校の6年生に事前授業を行い、パイキング給食を実施した。 ・地場産食材活用推進のため柱本小学校と学文路小学校で給食時に生産者との交流会を実施した。	新学校給食センターの開設に伴い、方法について検討を行い、実施を目指す。
給食試食会の実施	・市内小学校1年生の保護者を対象に給食試食会を実施し、センターの施設概要、学校給食の内容・目標・安全について説明し、意見交換を行った。	本年度も実施し、保護者の学校給食についての意識を高める。
市栄養士による園訪問（観察・指導）	・こども園4園、保育園6園の訪問を実施した。	各園の訪問回数を増やす。

重点的な取組 ②学校給食における食物アレルギー対応を実施します。

■具体的な施策

- ・アレルギー対応の方法について検討し、充実を図ります。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校給食における食物アレルギー対応の実施	・新給食センターにおける食物アレルギー対応マニュアル作成のための委員会を開催し、マニュアルを作成した。 ・食物アレルギー対応についてのマニュアル説明会を実施した。 ・卵アレルギー除去食希望者22名に対して個別面談を実施した。	平成30年度9月から新学校給食センター開設に伴い、卵アレルギー除去食を実施する。

基本方針 (3) 地域・家庭・学校の連携を育みます

重点目標 ア 公民館単位で「共育コミュニティ」を組織し、地域の活性化を推進する。

重点的な取組 ①地域共育コミュニティ形成促進事業・放課後子ども教室推進事業を実施します。

■具体的な施策

- ・生涯学習による人づくり・地域づくりのために市民のつながりを大切にし、学校・家庭・地域の連携を促す取組を推進します。
- ・放課後子ども教室推進事業を推進します。
- ・共育コミュニティ形成促進事業・放課後子ども教室推進事業が持続可能とできるよう実施形態の見直しを検討します。
- ・コミュニティづくりに寄与する取組や実践を共有し、活性化に働きかけます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
橋本中央中学校区、紀見北中学校区における「共育コミュニティ」の立ち上げ	・関係者で協議を重ね、「橋本地域共育コミュニティ本部」「山田地域共育コミュニティ本部」「紀見北中学校区共育コミュニティ本部」を平成30年4月より発足することが決定した。	
地域共育コミュニティ形成促進事業	・共育コミュニティの活動に幅広く参画していただくためにホームページ等で活動紹介の充実をはかった。 ・各地域の活動が拡充し、特に地域清掃などで子どもたちが地域に貢献できる機会が増えた。	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。
放課後子ども教室推進事業	・実施延べ回数 833回 ・参加児童延べ人数 14,151名	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。
こどもの居場所づくり事業	・実施延べ回数 82回 ・参加児童延べ人数 982名 ・小学校3箇所、公民館2箇所で開催	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。

重点目標 イ 地域の教育力を学校教育に生かすために、学校開放に努める。

重点的な取組 ①学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールを目指します。

■具体的な施策

- ・小中学校に学校運営協議会を設置します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校運営協議会の設置	・市内15小学校のうち14校、5中学校のうち4校に学校運営協議会を設置した。	学校運営協議会規則を策定し、市内全小中学校に学校運営協議会を設置する。

重点的な取組 ②学校評価の実施と結果の公表を行います。

■具体的な施策

- ・学校は、自己評価の実施と公表を行います。
- ・学校は、学校関係者評価を実施し、学校運営の改善に生かします。
- ・教育委員会は、学校評価の結果を学校に対する支援に生かします。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各校の学校評価分析と支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の学校評価は、全体的に見て、保護者や評議員等からは高評価を得ている。 ・評価の低かった項目については、各校にて改善策を考え実践するよう指導した。 	前年度における各校の学校評価を分析し、本年度の学校運営に活かせるよう支援を行う。

重点的な取組 ③保護者や地域社会に学校情報を発信します。

■具体的な施策

- ・H.P（学校ウェブサイト）や学校だより等、様々なメディアを通じて学校の取組や考え方を知らせることにより、教育活動に対する理解と参画を進めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
各校のHPや学校だよりによる学校評価・スクールプランの公表	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の結果については、紙媒体又はHPで公表した。 	全学校でスクールプランをHPで公表する。
園便りやH.P等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・園のH.Pは、リアルタイムの情報が伝わるよう更新に努めた。 ・園便りや通信では、子どもの具体的な姿から、園の保育方針を感じ取れるよう工夫した。 	各園の実情に応じた方法で、保護者や地域の人に分かりやすい伝え方の工夫をする。

重点的な取組 ④学校開放を実施するための検討を行います。

■具体的な施策

- ・学校開放に向けた検討のための会議を開催します。
- ・地域の教育力を学校教育に生かすための方針を作成します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校開放検討会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議は開催していないが、学校施設開放について、校長会で方針や運用の提案をし、協議を行った。 	検討会議を開催し、学校開放のための方針を作成する。

重点的な取組 ⑤橋本市ボランティア登録制度による市民等により学校と地域住民や民間団体をコーディネートします。

■具体的な施策

- ・市民ボランティアの活用を図ります。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
市民ボランティアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア登録者のうち活動内容が「子ども・教育」の方の活動回数は延べ2,736名 	各公民館とそこで活動するボランティアに有益な情報を提供し、活動の活性化を図る。

重点目標 ウ 学校や地区公民館を拠点として地域の学びと交流を推進する。

重点的な取組 ①地域と連携した安全教育を推進します。

■具体的な施策

- ・学校において、防災訓練を実施します。
- ・交通安全、生活安全等、安全に関する指導の充実を図ります。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
火災、地震等災害別の防災訓練の実施	・各学校で、年2回の防災訓練と、年1回の防犯訓練を実施した。	年回2回災害別の防災訓練を実施する。
通学路の安全点検	・平成29年度は橋本市通学路交通安全プログラムに基づく安全対策が必要な箇所4カ所を整備した。プログラムの要対策箇所は59カ所で、うち対策済箇所は46カ所。	橋本市通学路交通安全プログラムに則り、通学路の安全点検を実施する。

重点的な取組 ②青少年育成市民会議の活動の推進に努めます。

■具体的な施策

- ・青少年の健全育成を阻害する環境の浄化に努めます。
- ・社会を明るくする運動を推進します。
- ・子ども・若者の社会的自立支援の促進に努めます。
- ・青少年の健全育成活動の推進と充実に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
登下校時の見守り活動の実施	・見守りボランティア登録者は、506名となり、目標達成率は101.2%に及ぶ。	500名の見守りボランティアの登録を維持する。
子どもを守るための啓発活動・講演会の実施	・橋本中央中学校区…教育講演会、平成29年11月14日、49名参加 ・紀見東中学校区…講演会、平成30年2月20日、97名参加 ・紀見北中学校区…講演会、平成29年12月15日、90名参加 ・高野口中学校区…教育講演会、平成30年1月14日、86名参加 ・隅田中学校区…発表会、平成29年12月9日、400名参加	引き続き各中学校区での研修会等の実施と各健全育成会と連携して講演会等を実施する。

重点的な取組 ③地域の学びの場として、公民館主催行事を充実させます。

■具体的な施策

- ・子どもたちが数学及び科学への興味や関心を持つように努めます。
- ・生涯にわたって心豊かに学べる講座、教室、交流会を開催します。
- ・人と人との交流を深めるとともに、健康維持の増進に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
--------	-----------	-----------

「おもしろ算数・数学教室」、「低学年のための親子算数教室」、「岡潔博士顕彰事業」、「低学年のための親子科学教室」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろ算数・数学教室」8回開催、参加者69名 ・「低学年のための親子算数教室」8回開催、参加親子238名 ・「岡潔博士顕彰事業」講演会を開催、150名の来場者 ・「岡潔博士顕彰事業」囲碁大会を開催、参加者32名 ・「岡潔博士顕彰事業」将棋大会を開催、参加者34名 ・「低学年のための親子科学教室」10回開催、参加親子20組 	各事業広報活動を行い、参加者増を目指す。
橋本市民大学いきいき学園などの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの地域づくりをテーマに、持続可能な地域を目指し、実践的な地域づくりの手法や、住民が主役のまちづくりを行うためにできることを学習するとともに、それぞれの地域に持ち帰り、実践を通して新たな交流と学びを得ている。 	学ぶだけでなく、学生自身が講師となり、教える側・学ぶ側との相互学習の機会を組み入れ、生涯学習として取り組む。
グラウンドゴルフ大会やハイキングなど、スポーツ・レクリエーションの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ交流会は悪天候により1日順延となったが、248名の参加があった。 ・その他各地区公民館の事業にも多くの来場があった。 	高齢者向きの取組が多く、参加者も多いが、若年層向けの事業を開催する。

重点目標 エ 福祉と教育が連携し、安心・安全、学びのまちづくりを推進する。

重点的な取組 ①家庭教育支援相談室を活用し、福祉と教育の連携を深めます。

■具体的な施策

- ・家庭教育支援・子育て支援の団体の連携を推進します。
- ・家庭教育支援・子育て支援等の団体が連携することにより、子育て等の悩みの解消に努めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
「家庭教育支援相談室」の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本市子どものための教育福祉連携会議や家庭教育支援チームへスティアによる会議、個別相談などで「家庭教育支援相談室」を使用した。 各団体の使用回数合計：204回 【部屋の稼働率】 使用回数合計/日数=83.6% 	部屋の稼働率90%を目指す。

重点的な取組 ②学童保育の充実に努めます。

■具体的な施策

- ・指導員の資質向上に努めます。
- ・施設的环境整備に努めます。
- ・学童保育の質的向上をはかるため、NPOへの加盟を推進します。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標

学童保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 橋本小学校・応其小学校において、学校と協議の上、余裕教室を利用して学童保育所を新設し、対応した。 あやの台小学校において、施設の不足を解消するため建設に向けて取り組んだ。 	学童保育の施設不足について学校と協議し、解消を目指す。
---------	--	-----------------------------

重点的な取組 ③学校プラットフォーム化の推進に取り組みます。

■具体的な施策

- ・子どもの課題を早期発見するため効果的なスクリーニングのあり方を研究します。
- ・学校に福祉的視点を取り入れ、福祉サービスや地域資源を有効に活用する事例研究を進めます。
- ・地域から子どもに関する情報が集まる仕組みづくりを進めます。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
学校プラットフォーム化の推進	<平成30年度新規事業>	研究校を指定し、スクリーニング・ケース会議等の効果的なあり方について研究する。 福祉サービスや地域資源を活用し、子どもの課題解決に取り組む。

重点目標 オ 子どもの健やかな成長に向けて「橋本市子どもスマホ宣言」を推進する。

重点的な取組 ①スマートフォン・携帯電話を正しく使う取組として、家庭と学校が連携してスマートフォン等の弊害の解消に取り組めます。

■具体的な施策

- ・ネットモラルに関係した研修会を開催します。
- ・スマートフォンの使用時間を減少させ、家庭学習時間を増やします。

■成果指標・内容・実績・目標

指標名・内容	平成29年度の実績	平成30年度の目標
ネットモラルに関係した研修会の開催	・各校種々の機関から講師を招きネットモラルに関する学習会を実施した。	各校とも、必ず年1回、学習会を実施していく。
ネット利用に関するアンケートの実施	・児童生徒、保護者対象にネット利用に関するアンケート結果から、現状を把握し、指導方針を定めることができた。	児童生徒のネット利用の実態を把握し、ネット依存に陥らないよう指導する。

Ⅲ 橋本市の教育施設 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

◎幼稚園 (5 園)

※市外局番(0736)

幼稚園名	学級数	園児数	郵便番号	所在地	電話番号
紀見幼稚園	3	38	648-0096	御幸辻 284 番地	33-0670
柱本幼稚園	3	20	648-0092	紀見ヶ丘一丁目 18 番 1 号	37-2209
境原幼稚園	3	15	648-0005	小峰台一丁目 25 番地の 1	37-5759
学文路幼稚園	3	7	648-0043	学文路 900 番地	32-4255
清水幼稚園	3	9	648-0041	清水 2014 番地	32-4370
合計	15	89			

◎小学校 (15 校)

小学校名	学級数	児童数	郵便番号	所在地	電話
紀見小学校	16	340	648-0097	柿の木坂 25 番地の 1	32-1522
柱本小学校	9	138	648-0092	紀見ヶ丘二丁目 20 番 1 号	37-2811
境原小学校	8	75	648-0005	小峰台一丁目 25 番地の 1	37-0808
橋本小学校	14	250	648-0073	市脇五丁目 3 番 8 号	32-0059
学文路小学校	7	87	648-0043	学文路 900 番地	32-0079
清水小学校	7	78	648-0041	清水 2014 番地	32-0307
隅田小学校	16	298	648-0018	隅田町垂井 20 番地	32-0714
あやの台小学校	15	322	648-0019	あやの台二丁目 17 番地	37-4001
恋野小学校	6	55	648-0022	赤塚 129 番地の 1	32-1355
西部小学校	10	219	648-0084	柏原 554 番地の 2	33-0472
城山小学校	14	303	648-0054	城山台二丁目 10 番地の 2	37-2055
三石小学校	14	299	648-0094	三石台二丁目 1 番地の 1	37-3822
高野口小学校	9	204	649-7205	高野口町名倉 226 番地	42-2061
信太小学校	1	3	649-7215	高野口町九重 87 番地の 1	42-2803
応其小学校	16	292	649-7203	高野口町名古屋 19 番地の 1	42-2067
合計	162	2,963			

◎中学校 (5 校)

中学校名	学級数	生徒数	郵便番号	所在地	電話
橋本中央中学校	13	315	648-0073	市脇五丁目 3 番 8 号	32-0101
隅田中学校	11	256	648-0012	隅田町芋生 243 番地の 1	32-0729
紀見東中学校	12	309	648-0054	城山台一丁目 39 番地の 2	37-0500
紀見北中学校	8	181	648-0094	三石台三丁目 19 番地の 1	37-5060
高野口中学校	12	252	649-7203	高野口町名古屋 1322 番地の 10	42-5555
合計	56	1,313			

◎図書館

橋本市図書館	648-0072	橋本市東家 1-6-27	33-0899
<p>昭和 50 年 7 月の教育文化会館竣工に伴い、5 階部分を図書館として翌年 11 月に開設。 休館日は毎週（月）と年末年始（12/29～1/3）。利用時間は午前 9 時から午後 6 時まで。 自主事業は「ぶっくんクラブ」（不定期）、「読み聞かせ会」（第 4 土曜日）、「あかちゃんと絵本のひととき」（第 2 火曜日）、「在地文書学習会」、「ストーリーテリング」（隔月 第 3 日曜日）、「近代文学および源氏物語の読書会」（第 1 日曜日）、「English Speaking Lounge」（第 2・4 日曜日）など。</p> <p>移動図書館 ブッキー号は平成 4 年より幼稚園・小学校 公民館など市内 54 箇所を巡回。</p>			

◎教育相談センター

教育相談センター	648-0096	橋本市御幸辻 7 8 7 - 2	32-1512
<p>学校・家庭・社会生活において心理的援助を必要とする子どもや保護者や教職員等に適切な相談・助言等の支援を行います。また、学校教育に寄与することを目的として、次の 3 つの活動を行っています。</p> <p>《教育相談》（カウンセリング・プレイセラピー等） 《サポート活動（研修会等）》 《適応教室「憩の部屋」の運営（小中学校児童生徒）》</p>			

◎青少年センター

青少年センター	648-8585	橋本市東家 1-1-1	32-2124
<p>活動の 3 本柱：《補導活動》 《相談活動》 《環境浄化活動》 平成 14 年 5 月から「こどもメール相談」、平成 18 年 12 月から「不審者情報メール配信」を行っています。</p>			

◎学校給食センター

橋本学校給食センター	648-0052	橋本市紀見 58	37-2338
高野口学校給食センター	649-7206	橋本市高野口町向島 124	42-3016
<p>給食センターでは、衛生管理と食の安全性の確保を徹底し、栄養的にバランスのとれた魅力ある給食の実施に努め、子どもたちの「心とからだの健康づくり」を進めています。</p>			

◎文化施設等

橋本市郷土資料館	648-0096	橋本市御幸辻 786	32-4685
<p>先人の文化遺産と生活の知恵を保存し、これを後世に伝えるため、昭和 49 年に開館しました。歴史資料、民俗資料、美術工芸品などの資料を多数保有しています。</p>			
あさもよし歴史館	648-0074	橋本市野 516	33-0211
<p>考古資料の調査、保存、整理及び活用を図り、企画展、体験学習や歴史講座等を開催し、歴史への関心を高めたり理解を深めたりする施設として平成 18 年に設置しました。</p>			
郷土の森学習体験棟	648-0061	橋本市北馬場 454	32-5151
<p>郷土の森で市民による、市民のための森作り活動を目標として、森林作業体験、自然環境教育、自然保護活動などを行うための拠点施設として平成 12 年度に建設されました。</p>			

◎社会体育施設等

橋本市運動公園	648-0061	橋本市北馬場 454	
プール：Tel33-2556、テニス・多目的グラウンド：Tel33-1866 プール：競泳用プール（50m×10コース）、子ども用プール、流水プール テニスコート：全天候型 12面 多目的グラウンド：陸上競技、サッカー 1面			
県立橋本体育館 （橋本市運動公園内）	648-0061	橋本市北馬場 455	32-9660
◎メインアリーナ ・バスケットボール：3面 ・バレーボール：3面 ・バドミントン：9面 ・テニス：3面 ・ハンドボール：2面 ・卓球：24面 ◎サブアリーナ ・バスケットボール：1面 ・バレーボール：1面 ・バドミントン：3面 ・卓球：6面 ◎武道場 ・剣道・柔道：2面 ◎トレーニングルーム			
学文路スポーツセンター	648-0043	橋本市学文路 172-2	
・バスケットボール：1面 ・バドミントン：4面 ・バレーボール：2面 ・テニス：2面 ・庭球：1面 ・ソフトボール：1面			
伏原体育館	649-7202	橋本市高野口町伏原 806	
バレーボール：2面			
勤労者体育センター	649-7212	橋本市高野口町上中 175-2	
バレーボール：2面			
伏原テニスコート	649-7202	橋本市高野口町伏原 395	
ハードコート：2面			
東家体育館	648-0072	橋本市東家 2-1-13	—
バレーボール：2面			
向副緑地（河川敷）	648-0025	橋本市向副 113	
・野球 3面 ・ソフトボール 6面 ・サッカー 1面 ・相撲場			
神野々緑地（河川敷）	648-0086	橋本市神野々 1193	
・サッカー 1面 ・野球 1面			
南馬場緑地広場（河川敷）	648-0044	橋本市南馬場 1158-29	
・野球 2面 ・ソフトボール 6面 ・サッカー 1面			
住吉運動公園	649-7203	橋本市高野口町名古屋 1390	
◎テニスコート：砂入り人工芝コート 4面 ◎多目的広場：少年野球・ソフトボール 1面			
若もの広場	649-7202	橋本市高野口町伏原 1370	
野球、ソフトボール、サッカー			
学校開放施設			
市内小学校（15校）・中学校（5校）の体育館と運動場を開放しています。			

◎文化会館、公民館等

中央公民館・文化会館	648-0072	橋本市東家 1-6-27	32-0034
昭和50年7月に完成した橋本市教育文化会館3階にあり、翌51年2月に開館。 橋本市民大学いきいき学園、岡潔数学WAVE、ふるさと再見市民講座、ワクワクおもしろ科学教室、子育てよもやま交流会、公民館まつり、市民総合文化祭、市民グラウンドゴルフ交流会などの事業を行っています。 また、公民館の中心的役割を担っています。			
産業文化会館 ・温水プール	649-7206	橋本市高野口町向島 135	42-5070 42-5077
音楽・演劇・公演・集会や地場産品等の展示機能を持った多目的施設です。 温水プールは25m×6コースと小プールを備え、一般遊泳用として3コースを開放しています。また、水泳教室にも利用されています。			

紀見地区公民館	648-0054	橋本市城山台 2-10-1	37-2302
昭和56年4月開館。 さくらまつり、観月会、料理教室、カラオケ大会、紀見サロン、子育て講座、橋本市ふる里よいとこ探しナチュラルブレイクなどの事業を行っています。			
学文路地区公民館	648-0044	橋本市南馬場 1173-77	34-1546
昭和57年4月開館。 乳幼児親子教室、郷土料理講習会、ハイキング、ほたる観賞会、みそ作り、パッチワーク教室、グラウンドゴルフ、子どもクッキング、文化祭、盆踊りなどの事業を行っています。			
隅田地区公民館	648-0017	橋本市隅田町中島 22	34-2312
昭和59年6月に開館。平成14年4月に新築 建替え。子育て支援事業、世代間交流事業、介護予防講座や健康講座など、学校との共育推進事業や地域と連携した事業を行っています。			
橋本地区公民館	648-0073	橋本市市脇 1-3-18	34-2750
平成元年に完成した橋本商工会館の2階にあり、同年4月に開館。 乳幼児親子学級、味の伝承講座健康一番体操、つれもて歩こう!!などの事業を行っています。			
紀見北地区公民館	648-0094	橋本市三石台 4-2-1	37-2867
平成6年6月開館。 子ども体験教室(年10回)、フレッシュママ交流会(年6回)、夏まつり、紀伊見峠ふるさと展望、音楽コンサート、人権講演会などの事業を行っています。			
山田地区公民館	648-0084	橋本市柏原 433-1	33-2656
平成28年4月開館。 乳幼児教室、料理教室、テクテク散歩会、古典に親しむ会、水彩画教室、子どもクッキング教室、ふれあって!せいふなどの事業を行っています。			
恋野地区公民館	648-0021	橋本市恋野 564-1	33-2458
平成10年7月開館。 三世代交流の集い、キャンプファイア子ども対象フリースクール年10回、文化祭、料理教室、映画会、人権講演会などの事業を行っています。			
高野口地区公民館	649-7205	橋本市高野口町名倉 813-2	33-3111
平成20年4月新築移転。 文化祭、盆踊り大会、子ども対象事業、ミニウォーキング、味噌作り講習会、しめ縄作り、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会などの事業を行っています。			
東部コミュニティセンター	648-0017	橋本市隅田町中島 189-1	33-5200
市民の文化向上と福祉の増進を図るため、平成18年5月に開館。 ホール、楽屋、ロビー、事務所を備えた施設です。			

◎子ども館等

子ども館			
いつでも誰でも安心して自由に楽しく遊べる場所です。 『手作り遊び』をテーマに季節の行事や手作り・工作教室、クッキング、紙芝居、読み聞かせ、スポーツ、ゲームなど色々な事業をしています。子どもの交流の場、子育て支援の場、中高生の居場所、学習の場として利用できます。きしかみ子ども館では、夏期にプールを開放しています。			
◎はらだ子ども館	〒648-0063	橋本市原田 239	(TEL33-0330)
◎きしかみ子ども館	〒648-0085	橋本市岸上 203	(TEL32-5094)
◎友愛児童館	〒649-7202	橋本市高野口町伏原 1068-2	(TEL42-5004)
◎名古屋児童館	〒649-7203	橋本市高野口町名古屋 1190	(TEL42-5560)

橋本市教育委員会

〒648-8585 和歌山県橋本市東家一丁目1番1号
TEL : 0736-33-1111(代) FAX : 0736-33-2657